



■東海北陸自動車道 4車線化事業

2021年11月、東海北陸自動車道 南砺スマートICから小矢部砺波JCT間約1.8kmの4車線化が完成しました。

4車線化により対面通行が解消され、時間信頼性の向上、安全性やネットワーク信頼性の向上、機能強化による災害時のリダンダンシーの確保が期待されます。

白川郷ICから小矢部砺波JCT間で事業中の区間につきましては、引き続き鋭意事業を進めてまいります。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

・開通年月日：2021年11月10日

- 2 **視点**
インフラと社会について思うこと
■NEXCO東日本 新潟支社 技術部長 中村 克彦

- 3 **地域の動き**
あいの風とやま鉄道の新駅へのアクセス道路が完成
都市計画道路富山新駅停車場線の開通
■富山県 富山土木センター

- 5 **技術レポート**
R2・3羽越管内舗装修繕その2工事
舗装修繕工事における
TLS・MMS 測定の導入効果について
■(株)水倉組 舗道部 相馬 勇

- 7 工程短縮を目的としての技術採用
今川橋下部工（A1橋台）工事において
■藤川建設(株) 野原 成晃

- 9 地中を温め微生物を活性化してVOCs汚染を浄化
加温式高速浄化システム「温促バイオ®」
■(株)竹中土木 菅沼 優巳

- 13 **シリーズ 現場技術者の「知得」**
令和4年度 積算基準等の改定概要について
■北陸地方整備局 企画部

- 17 新潟県における新設コンクリート構造物の
品質確保の取組について
■新潟県 土木部 技術管理課

- 19 **職場紹介**
自然とともに、郷土とともに
「地域の安全、安心を守る」私たちの使命です
■(株)高橋組



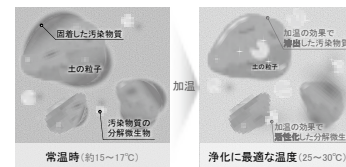
新駅側から東を望む 交差点側から西を望む
ドローン撮影写真▶P.3



TLSによる現況測量 MMS測量機本体
▶P.5



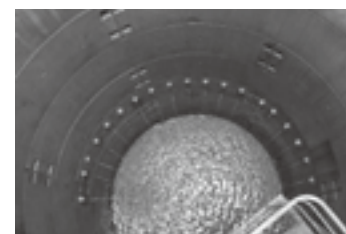
CADデータを事前登録し、杭ナビと連動するとプリズムマンの現在地がCAD図上に標記されおおよその位置出し可能。▶P.7



加温による浄化促進のメカニズム
▶P.9



モデル工事を通じた上越地域整備部での研修会▶P.17



地下水を抜く集水井内▶P.19

- 22 **先輩なう！**
地域の歴史を後世へつなぐ
■北陸地方整備局 道路部 道路管理課 三五 彬喜 さん

- 23 **新技術情報**
■Made in 新潟 新技術普及・活用制度
・工事車両無音誘導機器（おとなしくん）
【登録番号：2021D101】
福田道路(株)
・専用架台と2種類のカメラを用いた集水井内の点検技術
【登録番号：2021D102】
(株)興和
・2.0㎡の谷積大型ブロック張
【登録番号：2021D103】
(株)アドヴァンス



北陸地方整備局 道路部 道路管理課
三五 彬喜 さん▶P.22



工事車両無音誘導機器（おとなしくん）
▶P.23



専用架台と2種類のカメラを用いた集水井内の点検技術▶P.23



2.0㎡の谷積大型ブロック張▶P.23



「i-Construction (アイ・コンストラクション)」とは？

国土交通省では、建設現場で働く労働者一人一人の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を実現する「i-Construction」の取り組みを進めています。

「i-Construction」は、「ICT 技術の全面的な活用」、「規格の標準化」、「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセスの最適化を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取り組みです。

本誌では「i-Construction (アイ・コンストラクション)」に関連する取り組みや建設現場などの記事を読者の皆様にわかりやすく知って頂くために、当該記事に上記ロゴを表示しています。

※このロゴは平成 30 年 6 月 1 日に国土交通省が決定したロゴです。建設業界はもちろん、業界を超えて社会全体から応援される取り組みへと「深化」するシンボルとなっています。

「北陸の建設技術」への意見、ご感想がありましたらお聞かせください。
E-mail:hokugi@hrr.mlit.go.jp